



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第186号 ■

活発な意見交換が出来た交流集会

ファルマ ツ谷薬局 薬剤師 安田 佳乃

3月17日(日)、青森県総合社会教育センターで2023年度青森県民医連学術運動交流集会が開催されました。

初めに全日本民主医療機関連合会の増田剛会長による「コロナ禍を越えて、46期に飛躍を」というテーマで記念講演が行われ会場が話に聴き入っていました。能登半島地震被災地支援の報告もあり、支援の内容や被災地の状況、被災された方々の話などニュースだけでは知ることが出来ない貴重なお話を聴くことが出来ました。

午後からは6つの会場に

別れて演題発表が行われました。発表者は67名で薬剤師、看護師、管理栄養士、理学療法士など様々な職種の方が参加しており、ファルマからも12名が発表者として参加しました。

発表の内容は新型コロナウイルス感染症に関する取り組みや、疾病に対する治療・多職種連携など様々な演題がありました。これほど多くの職場・職種の取り組みや事例を聴くことができ、それに対して活発な意見交換が

できるのは民医連だからこそだと思います。これからも、民医連の職員として様々なことを吸収し、医療人としても人としても成長していきたいと強く感じました。



参加者で記念写真

対面交流の一体感が期待が高まる

本部 事務長 館田 総子

3月17日(日) 青森県総合社会教育センターで2023年度青森県民医連学術運動交流集会が開催されました。青森県民医連に所属する医師をはじめ多職種240名が参加しました。

第1部の記念講演は、全日本民医連から増田剛会長が来賓し、第46期民医連運動方針の解説では厳しい情勢の中での経営課題や「ケアの倫理」を深め人間の尊厳を断固守るために活動を広げようとお話いただきました。特別報告は能登半島地震

被災地支援について医師と看護師から石川県で行った医療活動について報告がありました。第2部分散会ではボスターと口述発表に分かれ67本の多彩な研究活動の発表があり、ファルマから発表した12演題のうち事務委員会の活動報告をした工藤由希子主任が見事に分散会座長賞を受賞しました。発表者の息遣いまで感じられるこのような対面式での交流会は



ポスター発表を頑張った中西さん

たくさんさんの学びとともに今後2年間の運動に飛躍を期待する一体感がありました。

まだまだ終わらない廃炉問題

ファルマ弘前薬局 副薬局長 葛西 孔明

3月10日(日) リンクモア平安閣市民ホールで「2024さようなら原発・核燃3・11青森集会」が開催されました。

初めに福島原発訴訟団長の武藤類子さんより「今も終わらない原発事故と福島の実状」と題して御講演いただきました。福島第一原発事故から13年経過した現在も原子力緊急事態宣言が解除されず、

危険な原発・核燃はストップさせよう

代表取締役 石川 隆之

3月16日(土) 午後2時より弘前市文化センターにおいて核燃・だまつちやおられん津軽の会主催による「さようなら原発・核燃3・11弘前集会」が行われました。まずは名古屋大学名誉教授の池内了氏を講師に「原発と軍拡は両立しないー日本の核政策の大いなる矛盾の背景ー」というタイトルで基調講演がありました。

まず日本の現状はロシアのウクライナ侵攻が契機となり軍事的な抑止力で国を守るという名目で安保三文書を閣議決定し軍拡の道へ進もうとしていることが報告されました。この安保三文書に明記してある敵基地攻撃能力行使すれば日本は当然原発をターゲットにした攻撃を受けることは明白であるとも主張され

よう、一人一人考えなければならぬ問題だと再認識しました。



青森市二コニコ通りを行進中

ました。そうであるにも拘らず、どうしても原発を止めることが出来ないのかについては原発稼働で生じる利権に群がる電力会社を含む大企業や政治家の後押しがあるからだと言っていました。また青森県の核燃サイクル施設の危険性にも触れ、原発や核燃は軍拡とは決して両立しないと話さ

れました。その後、4つの団体や個人より活動報告があり最後に集会アピールが採択され「3・11弘前集会」は閉会しました。



講師の池内了名古屋大学名誉教授

写真紹介

3/10 鰺ヶ沢・深浦・岩崎支部へ出前講座

3月10日(日) 津軽保健生協鰺ヶ沢・深浦支部主催の出前講座が板柳ふるさとセンター青柳館ふるさと温泉にて開催されました。講師はファルマツ谷薬局の安田薬剤師で「お薬とサプリメントの飲み合わせ、認知症とお薬について」をテーマに行われました。参加者は14名で様々な質問や感想をいただき活発な交流となりました。



参加者から相談を受けている安田薬剤師(中央)

中堅薬剤師としての役割

ファルマ弘前薬局 主任補佐 村上 昌

第45期北海道・東北地協中堅薬剤師研修会が3月16日(土)・17日(日)仙台つばさ薬局長町店にて行われました。

1日目は学習講演として審査報告書分析・新薬評価ワークシヨップを行い、その後各グループにて医薬品評価を行い、夜には交流会で県連の各薬剤師と交流を深めました。

2日目は薬剤師育成について岡山県労働者学習協会の長久啓太さんの動画視聴を行い、スモールグループディスカッションを「中堅薬剤師としての後輩への接し方、指導時の悩み」、「2日間の本研修を通しての意見交流」

についての2テーマで行いました。

新薬評価では、実際の評価のポイントを講演で学んだ後、グループで新薬についてこの薬は有効性があるのか、経済性はあるのか、安全性はあるのかについて検討した評価について発表しました。薬についての審査報告書やインタビュフォームに

記載されている事を分析し、本当に有効かどうかを分析するという事に慣れていたため、ディスカッションでは四苦八苦しました。どのグループでも難航していたようでしたが、最終的には

各グループの評価を発表し合いました。

今回新薬評価を行いその難しさやどの観点から評価するかを学びました。今まで自分で確認する情報は添付文書やインタ

その人らしさを支える為の介護実践を

居宅介護支援事業所ファルマ 主任 伊勢 充

3月6日(水)オンライン配信で介護報酬改定セミナーが開催されました。

「2024年度介護報酬改定について……改定の全体像・ポイントとねらい」のテーマで全日本医療連事務局次長である林泰則氏が講師で、124ページにわたる資料を紐解いて解説されました。

今回の改定は介護のみならず、医療、障害福祉全て改定となる大きな節目です。冒頭では、1月22日発出された改定案から、訪問介護の報酬減を取り上げられました。介護報酬は+1.59%増となる見込みですが、訪問介護は基本報酬が削減される予定で多くの団体などからも反対の声が挙がっており、在宅介護の崩壊を招くことになりかねません。全てのサービスが、複雑な

ビューフォームから得ることが多かったため、今後は薬剤師として審査報告書等の情報を確認し、精査する必要があると感じました。

また、2日目の後輩育成や指導、接し方については各薬局の指導方法や悩み・実際にあったエピソードなどを聞き、改めて育

成の難しさを認識しました。結論は出るものではありませんが、今回の研修で自分なりに指導方法や接し方を考える機会となりました。今後もしっかりと学んでいければと思います。

加算を取得することで報酬が微増となるため、事務処理や加算取得への人員配置のコストを考えると、物価高の情勢のなか、経営に与える影響は計り知れないことを実感しました。小規模事業所の倒産、昨年初めて医療福祉業界の入職者と退職者が逆転し、他業界への人材流出が顕著になってい

ていくのかを改めて再認識しながら、政府が求める生産性の向上のための介護ではなく、その人に寄り添い、その人らしく生き抜くことを支える介護が実践できるよう連携、協働していきたいと思

伊勢 充主任

写真紹介

3/28 社内調剤報酬改定学習会

3月28日(木)ファルマ弘前薬局を会場に各薬局をオンラインで繋ぎ、調剤報酬改定学習会を開催しました。講師はファルマ弘前薬局の工藤事務長で、新しい算定項目や地域支援体制加算の算定要件などについて詳しく学習しました。厳しい改定内容ですが、職員一丸となって取組んでいきましょう。



工藤事務長が講師をしました

3/9 県連高校生1日薬剤師体験会 (ファルマ弘前薬局)

3月9日(土)ファルマ弘前薬局で県連高校生1日薬剤師体験会が行われました。参加者は8名で、計数調剤鑑査システムF-WAVEを使用した計数や軟膏練り・模擬投薬などを行いました。



散剤分包機について説明中の村上主任補佐(右)

3/23 県連高校生1日薬剤師体験会 (ファルマーツ谷薬局)

3月23日(土)県連高校生1日薬剤師体験会がファルマーツ谷薬局で行われました。参加者は4名で、薬剤師業務についての質疑応答や計数・監査、模擬投薬などを行いました。



安田薬剤師(左)の話を真剣に聞く高校生

いのち第一の政治の実現のために

本部 工藤 留美

3月19日(火) 北海道・東北地協「全日本民医連第46回総会運動方針学習会」がWEBで開催されました。講演は「コロナ禍を乗り越え、新たな飛躍を！」46期を展望して」という内容で、全日本民医連の増田剛会長を講師に第46回総会運動方針について総会スローガンに沿って講演していただきました。まず、今問われているのは「人間の尊厳」であること、人権が侵害され蔑ろにされている中、直面する不条理に対する私たちの立ち位置はどうなのかというところから講演がはじまり、民医連の果たす役割は今後も益々重要性を増していくという内容をお話しされました。

ロシアによるウクライナ侵略は、パレスチナ、ガザ地区での武力攻撃は許しがたい不条理、人権侵害は国連憲章、国際法に反することです。戦争を起こさないことが何より大事です。

次に「岐路に立つ日本」のテーマの中では、今の日本では防衛費対GDP1%枠や武器輸出政策の転換などルールが壊されているとお話がありました。多様性の尊重、ジェン

ダー平等など女性も多く参加する社会づくりは大変なことです。各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数が上位常連国は経済的にも発展しています。

「医療・介護活動」の2つの柱では、生活と人生に寄り添い、切れ目ない医療・介護の体系づくりがカギだということをお話してくださいました。

全国で様々な活動をしていて、今回の学習会でも全国の民医連職員とのつ



本部事務室で受講する工藤留美さん

1年を通して学習した旧優生保護法

本部 次長 阿部 千佳子

3月26日(火) 青森民医連主催「旧優生保護法下における強制不妊手術に関する見解」フォーラム・大学学習会がありました。講師はNPO法人日本障害者協議会代表できょう

害者協議会代表できょうされん専務理事の藤井克徳氏でした。

まず世界の優生政策がなかりを感じました。「ケアの倫理」を深め、「医療・介護活動」の2つの柱を実践することで、事業と経営を守り運動を前進させていきたいと思いました。

ら日本の明治時代初期からの優生政策のお話があり、その中で福沢諭吉や東京帝国大学医学部教授の言葉などが紹介されました。

『真実の血統遺伝』を調べるべきだ」「低能はも

う全部断種です」「隔離することによって自然断種ができる」「偏見と人権を無視した言葉に唖然としました。

現在、勇気をもって立ち上がり国会賠償請求裁

判で訴えている被害者は39名います。しかし、強制不妊手術をされた方はおよそ2万5千人、人工妊娠中絶をされた方はおよそ5万9千人いることを考えると39名は本当に少ない人数です。

そこには手術を勧めた加害者が親などの身内の場合があることも訴えにくい原因のひとつだと藤井さんはお話ししてくださいました。

おおよそ1年を通して「旧

優生保護法」について学習しました。そこには知らなかったでは済まされない心が痛む事例も多くありました。これから引き続き学習をし、人権や命の平等を訴えていきます。



本部大会議室での様子

有意義な時間になったアフタージャンボリー

ファルマ弘前薬局 薬剤師 外崎 佳奈

3月30日(土) 浪岡の花岡農村環境改善センターで開催された青森民医連青年委員会・ジャンボリー小委員会主催の全国青年ジャンボリー・アフタージャンボリーに参加しました。参加者は全部で12人と、全国青年ジャンボリーよりも小規模での開催となりました。午前中はアイスブレイクを含めたジャンボリーの振り返りなどを行い、午後は生協さんから病院心理士の横山裕也さんによる「相手の心を開く話の聞き方」および「心理検査を体験しよう」という内容で学習会を行いました。

学習会では、カウンセラー役とクライアント役に分かれて二人一組でのロールプレイをしながら話の聞き方による印象の違いを学びました。相手が話しているときに別の方向を向いていたり携帯を操作していたりすると話している側は本当に聞いているのかと疑問に感じ、聞いていない側も話が頭に入りづらいと感じ、適度に相手の目を見て聞くことが聞く側、話す側両者にとって大切であることを学びました。心理検査では、YG性格検査とバウムテストを行い、自分が意識している性格と無意識の部分の性格の2つを検査して、自分自身についてより深く理解できたと思います。

短い時間でしたが、全国青年ジャンボリーでお会いした方々とまた

交流でき、ロールプレイを通じて意見を交換することもでき有意義な時間になったと思います。



参加者全員で話し合い中

2才のわたし

ファルマ弘前薬局 中西 茉季

この写真は、2歳の頃の私です。小・中・高・大学と勉強よりもソフトボールを優先しすぎて、可愛いエピソードはほぼないと思っています。小さい頃からやんちゃで負けず嫌いな性格でした。また、1番目の孫だったというもあり、祖父母のせいで、とてもあまやかされて育ったようで、両親から育て方を間違えたと言われるほど、祖父母の影響がとても大きかったようです。

保育園のエピソードは、遊びたい気持ちが強く外に出た瞬間に顔から転んで、すぐ先生に病院に連れられ、顔の右頬全てにガーゼを貼られ、母のお迎えを待った記憶があります。その後1～2週間は、先生と手を繋いで病院に通いました。また、保育園最後の運動会では、公園の外周を走る競技があり、1位でゴールすることができましたが、独走しすぎて寂しいのと怖いのが混ざり、泣きながらゴールをしました。泣きながらゴールをした理由は、私だけの秘密にしていたのですが、ここで初めて言いました。



可愛い2才のわたし

小さい頃から動くことが好きで、祖父母、両親は多分大変だったと思います。また、この頃は大学で完全燃焼するまでソフトボールを続けるとは、誰も思っていなかったと思います。



20年後のわたし

骨髄バンクには年齢制限があり、若い方のドナー数が足りていない現状を知ることが出来ました。また、10代から20代の若者で構成されるボランティアに所属する骨髄バンクの方々の話を聞き、提供を受ける患者側とドナー側の



骨髄バンクについてお話を聴きました

3月6日(水)ファルマ利用者委員会学習会が開催され、今回は骨髄バンクについて学びました。まず、骨髄バンクの概要や、現状と課題などについて知ることが出来ました。

両方の実体験を聞くことが出来ました。骨髄バンクのおかげで助かる命があるということとを改めて実感し、ドナー登録を増やすには何をすべきか考えさせられる学習会となりました。

広めよう！骨髄バンクドナー登録

ファルマ弘前薬局 薬剤師 熊澤 美春

新入職員紹介



黒石薬局 黒石 喬子

初めまして、2月から黒石薬局で勤務しています。黒石生まれ黒石育ち、大好きな黒石で働けることがとても嬉しいです。以前は外用薬を中心とした調剤薬局

に勤務しておりましたが、自分自身のスキルアップを目指したく志望しました。毎日忙しい中で自分の知識不足・経験不足を痛感しました。日々業務をこなすことだけで精一杯ですが、それ以上にとてもやりがいがあり新しいことを学ぶ楽しさもあります。一日でも早く仕事を覚え、黒石薬局のチームの一員であることを意識し頑張っていきたいです。

写真紹介

3/2 岩手医科大学 学内企業研究セミナー

3月2日(土)岩手医科大学主催の学内企業研究セミナーにファルマ弘前薬局の佐藤主任と福井薬剤師が参加しました。

ファルマの強みである在宅業務や健康サポート薬局などについて話しました。



一所懸命に話している福井薬剤師

3/5 東北医科薬科大学 合同企業説明会

3月5日(火)東北医科薬科大学主催の合同企業説明会にファルマ弘前薬局の相馬取締役薬剤部長・薬局長と本部の館田事務長が参加し、ファルマの魅力や薬剤師業務について話しました。



説明中の相馬薬剤部長

3/23 青森大学薬学部合同就職セミナー

3月23日(土)青森大学薬学部合同就職セミナーが青森大学の一教室を借り切って開催され、ファルマ弘前薬局の神主任補佐とファルマ浪岡薬局の高橋薬局長、本部の館田事務長が参加しました。



参加者の学生は真剣にお話を聞いてくれました

3/23 第74回憲法9条守れ、戦争法廃止!集会パレード

3月23日(土)弘前駅前りんご広場にて「第74回憲法9条守れ、戦争法廃止!集会とパレード」が行われました。ファルマからは6名が参加し、寒い中元気づくアピールをしました。



本部の須藤さんも参加してくれました!!

審査員 特別賞受賞



Pharmaizm新年号が「2024年全国新年号機関紙誌コンクール」で審査員特別賞を受賞しました。皆様ご協力ありがとうございました。